

「しめ飾りづくりをしたよ」
地域の方との交流を通して

庄内保育所

庄内保育所では、年間を通じて地域の方との交流を行っています。12月には、名和小学校応援団「サルビアの会」の方に教えていただきながら、年長児がしめ飾りづくりを体験しました。

真つすぐだったわらが、三人一組でねじっていくことで縄となり、その後も次々に形を変えてしめ飾りとなっていく様子が、子どもたちには不思議で、興味深かったようです。

出来上がったしめ飾りは、年末年始の間に各家庭で飾り、お正月明けに保育所のおとんどさんで焚き上げました。保護者からは、「自分で作れるなんてすごい。」「お正月の間、玄関に飾りました。華やかになって素敵でした。」「貴重な体験をさせていただき、ありがとうございます。ありがとうございました。」といった感想が寄せられました。

地域の方のご協力により、普段の保育や家庭では体験できない伝統文化に触れる体験ができた。



▲三人一組でわらをねじります

ています。また、地域の方の温かい言葉や優しい関わりの中で、思いやりの気持ちが育ち、人とつながる力や豊かな心を育むことにもつながっています。

これからも地域に根差した保育所として交流を続け、自分たちの住んでいる地域の良さを感じることで、大山町が好きなお子どもに育ってほしいと願っています。

小中連携を通じた学びの充実を

大山町教育委員会では、義務教育9年間の学びの充実のため、小学校と中学校間の連携（小中連携）を大切に考えています。各中学校区で抱える課題からテーマを設定し、学力向上など課題解決に向けて小中学校で連携して取り組んでいます。

【学力向上】

小中学校で年2回、子ども達は共通の学力テストを受けます。テストの結果を受けて、各学校でそれぞれの課題を把握し、中学校区でテーマを設定します。そして、課題解決に向けて授業改善に取り組んだり、放課後学習を行ったりします。把握した課題を解決できるような年間を通して、取り組みを進めています。

【人権・同和教育】

「二人一人を大切にし、学び合える集団作り」の視点に立ち、連携をしています。9年間を見通した仲間づくりについて考え、安心して過ごせるようにしています。

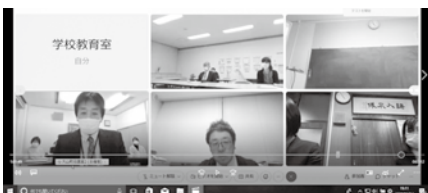
【家庭学習】

大山町の子どもの達の課題の一つに、家庭学習の習慣を身につけることが挙げられます。家庭学習強化週間の取り組みや、学習習慣の定着を目指した『大山町 家庭学習の手引き』を活用した取り組み等を進めています。

【取り組み成果の報告会】

12月24日、2学期までの取り組み成果等の報告会をオンラインで行いました。町長、教育長、教育委員、県の教育委員会事務局も参加し、様々な意見を交換しました。また、お招きした講師の兵庫教育大学准教授に、大山町の「ゴールを明確にした授業づくり」について高く評価していただきました。

子ども達の力を伸ばすためにも、より一層、小中連携して取り組んでいきます。



▲取り組み成果の報告会（オンライン）